



(添付書類)
事業報告

招集ご通知

株主総会参考書類

事業報告

連結計算書類
計算書類

監査報告

マックスレポート

代表取締役社長
黒沢 光照



株主のみなさまへ

マックスは、『人』が尊重され、『人』が成長することにより、会社も成長すると考えており、社是の実現に向けた経営基本姿勢として「いきいきと楽しく力を合わせ、皆揃って成長していく集団を目指す」と定めております。

役員・社員一人ひとりが社是を正しく理解・実践し、事業活動を通して社会課題の解決を図り、株主のみなさま、お客さまをはじめとするステークホルダーとともに、持続的な企業価値の向上を目指しております。

社 是

- 一、良い製品を責任をもって供給する
- 一、全従業員の生活の向上と人材の養成に努める
- 一、社会に奉仕し、文化に貢献する
堅実な前進を期する

経営基本姿勢

いきいきと楽しく力を合わせ、
皆揃って成長していく集団を目指す

1. ガラス張りの経営に徹する
2. 全員参画の経営に徹する
3. 成果配分の経営に徹する

添付書類

事業報告 2019年4月1日～2020年3月31日

1. 企業集団の現況に関する事項

1 事業の経過及びその成果

当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により、継続して個人消費の持ち直しがみられましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により期末にかけて急速に悪化しました。当社インダストリアル機器部門に関連する住宅市場は、金融機関の融資厳格化による賃貸住宅の着工減が影響し、国内新設住宅着工戸数は前年に対して減少しました。

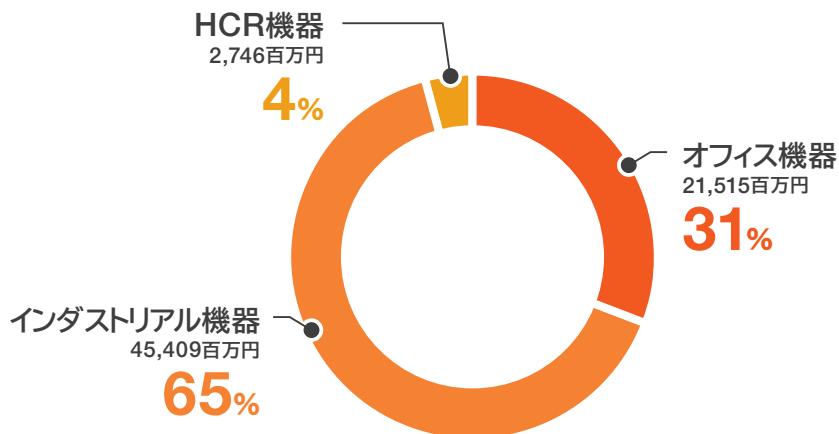
海外経済は、米国は雇用の増加による個人消費の高まりなど景気拡大が継続、欧州については、英国のEU離脱直前の不透明感などから景気は弱い回復となり、アジアでは中国での通商問題を巡る影響から緩やかな減速となっていました。新型コロナウイルスの感染が世界各国に拡大するなど、当社を取り巻く環境は厳しさを増しつつあります。

このような状況の下で、当期はインダストリアル機器部門が増収となったものの、オフィス機器部門が減収となりました。営業利益は、国内外の機工品事業における鉄筋結束機「ツインタイヤ」の拡販により、インダストリアル機器部門の収益性が向上したことや、HCR機器部門の赤字幅が縮小したことで、増益となりました。

売上高は696億7千1百万円（前期比0.6%の減収）、営業利益は75億8千6百万円（同6.1%の増益）となりました。経常利益は74億5百万円（同2.1%の増益）、親会社株主に帰属する当期純利益は55億1千万円（同8.8%の増益）となりました。



部門別売上高構成比



部門名		売上高	前期比増減率
オフィス機器	国内オフィス事業	8,179百万円	△1.5%
	海外オフィス事業	4,521	△12.0
	オートステープラ事業	8,813	△3.9
	部門計	21,515	△4.8
インダストリアル機器	国内機工品事業	20,127	△0.6
	海外機工品事業	14,380	7.7
	住環境機器事業	10,901	△2.4
	部門計	45,409	1.4
HCR機器	部門計	2,746	△0.1
合計		69,671	△0.6

オフィス機器部門

主要な事業内容

ホッチキス、ホッチキス針、紙針ホッチキス、オートステープラ、プラスチックリング製本機、ナンバリング、パンチ、スタンプ台、朱肉、タイムレコーダ、タイムカード、チェックライタ、カッティングマシン、フリーカットラベルプリンタ、ラベルプリンタ、チューブマーカー、筆耕ソフト、筆耕マシン、平行定規などの製造・販売

国内オフィス事業

安全表示用途で製造工場への導入が進んでいる表示作成機「ビーポップ (Bepop)」や食品表示制度の改正に合わせ食品表示用ラベルプリンタの販売が増加したものの、文具関連製品やチューブマーカー「レタツイン」の販売が減少し、事業全体では減収となりました。

海外オフィス事業

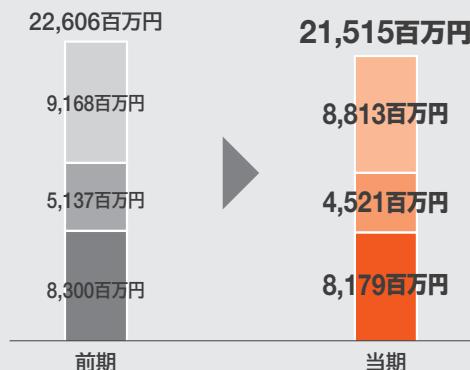
表示作成機「ビーポップ」の販売が英国子会社ライトハウス社の拡販により欧州市場で増加したものの、アジア市場において文具関連製品の販売が減少し、事業全体では減収となりました。

オートステープラ事業

新型コロナウイルスの影響により、複写機メーカーの生産が減少し、販売が減少しました。加えて、為替も円高に推移したことにより、減収となりました。

売上高

■ オートステープラ事業 ■ 海外オフィス事業 ■ 国内オフィス事業



TOPICS

感熱ラベルプリンタ LP-503S

2020年4月1日より「アレルギー表示に係るルールの改善」や「栄養成分表示の義務化」など新しい食品表示制度へ完全移行となりました。LP-503Sは、フルカラーの液晶タッチパネルを搭載し、本体のみで食品表示ラベルの作成が可能です。また、食品表示法への対応に役立つ「食品表示ラベルデータ作成サービス」や「食品表示ラベル診断サービス」も開始し、食品加工業者への導入が進んでいます。



インダストリアル機器部門

主要な事業内容

釘打機、ガンタツカ、ねじ打機、ステーブル、ネイル、ねじ、エアコンプレッサ、レーザ墨出器、鉄筋結束機、コンクリート用ピン打機、ガスネイラ、ハンマドリル、充電式インパクトドライバ、充電式丸のこ、充電式ピンネイラ、野菜結束機、誘引結束機、袋とじ機、充電式剪定はさみ、浴室暖房換気乾燥機、24時間換気システム、床暖房システム、ディスプレイシステム、住宅用火災警報器などの製造・販売

国内機工品事業

鉄筋結束機「ツインタイヤ」の市場への導入が進み、それに伴い消耗品の販売が伸長したことでコンクリート構造物向け工具の販売が増加したものの、木造建築物向け工具の販売が減少し、減収となりました。

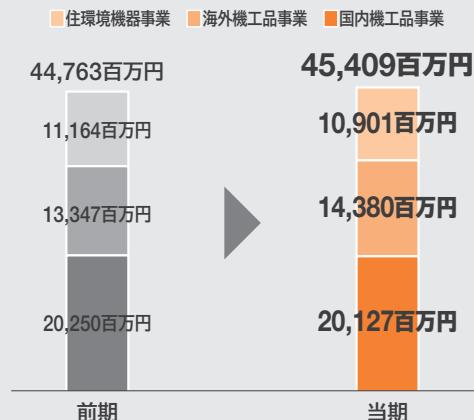
海外機工品事業

鉄筋結束機「ツインタイヤ」の導入が、既存の建築市場に加え土木市場へ広がることで、機械・消耗品ともに順調に推移し、増収となりました。

住環境機器事業

浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」がストック市場において伸長しましたが、換気システムの販売が減少したことにより、事業全体では減収となりました。

売上高



TOPICS

充電式鉄筋結束機 TWINTIER (ツインタイヤ)

2017年11月に充電式鉄筋結束機「TWINTIER」を発売して以降、コンクリート構造物向け工具の販売は好調に推移しています。当期は、「TWINTIER」シリーズの大口徑モデル「RB-610T」を発売し、建築現場の柱や梁、新幹線や高速道路の下部工橋脚など太い鉄筋での使用が可能となりました。機工品事業の開拓市場である土木市場での導入を進め、更なる事業成長を目指します。



HCR (Home Care&Rehabilitation) 機器部門

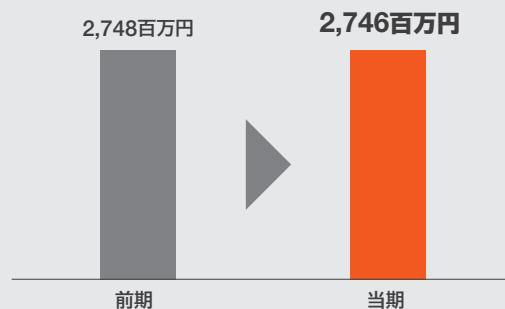
主要な事業内容

車いす、その他福祉用品の製造・販売

HCR機器事業

高単価車いすの販売は増加したものの、新製品の発売遅れや、新型コロナウイルスの影響による生産工場の操業減があり、売上高は前年水準となりました。

売上高



TOPICS

モダンシリーズ C-style

車いすのモダンシリーズは、使用者に合った機能を選択できるシリーズ展開とデザイン性の高さから当期販売を伸ばしました。最上位のC-styleは、基本性能である伸縮式駐車ブレーキの搭載や工具レスのフットサポートの高さ調整に加え、車いすの乗り降りに便利な跳ね上げ式アームサポートや開閉可能な脚部設計を採用し、施設から在宅まで幅広い場面でご利用いただける多機能な車いすです。

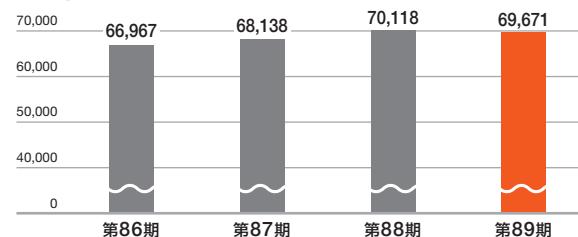


財産及び損益の状況

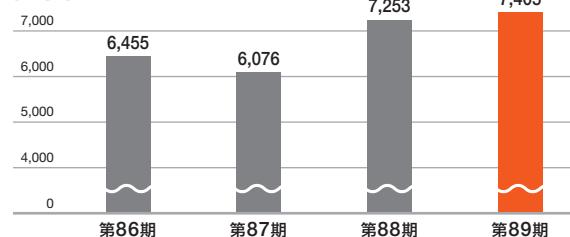
区分	期別	第86期 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)	第87期 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	第88期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	第89期(当期) (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高(百万円)		66,967	68,138	70,118	69,671
経常利益(百万円)		6,455	6,076	7,253	7,405
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)		4,726	4,654	5,064	5,510
1株当たり当期純利益(円)		95.93	94.46	102.91	112.66
総資産(百万円)		93,000	96,133	98,174	99,378
純資産(百万円)		67,210	71,574	73,950	75,972

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式の総数に基づき算出しております。

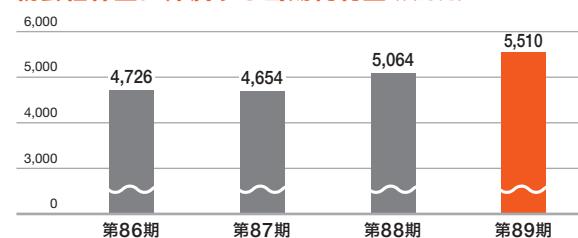
売上高(百万円)



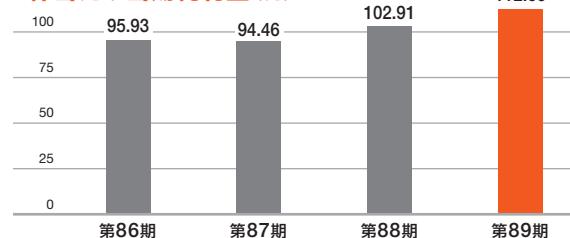
経常利益(百万円)



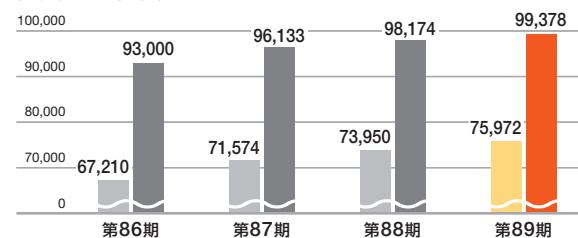
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



1株当たり当期純利益(円)



純資産／総資産(百万円)

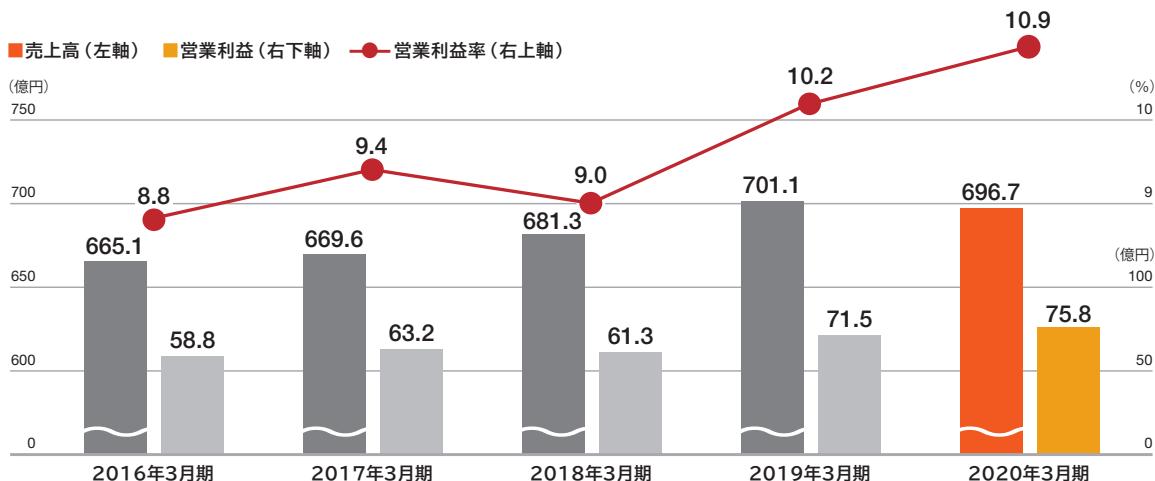


2 対処すべき課題

当期は、新型コロナウイルスの感染拡大等に伴い、期末にかけて経済環境が急速に悪化し、前期に比べ減収となり、売上高の伸びは縮小しました。一方、利益面ではインダストリアル機器部門の収益性向上や、HCR機器部門の赤字幅縮小が寄与し、増益となり、営業利益率は10%を超える水準を維持しました。これまで事業拡大と収益性の改善の両立に向けて取り組み、以下、グラフのとおり、着実に成果を上げてまいりました。

業績の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	当期 2020年3月期
売上高(億円)	665.1	669.6	681.3	701.1	696.7
営業利益(億円)	58.8	63.2	61.3	71.5	75.8
営業利益率(%)	8.8	9.4	9.0	10.2	10.9
親会社株主に帰属する当期純利益(億円)	35.1	47.2	46.5	50.6	55.1
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	5.4	7.2	6.7	7.0	7.4



対処すべき課題及び具体的施策

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大等の影響で、世界経済の混乱が続いている状況を踏まえると、当社グループの関連する市場を含め、先行きは不透明な状況が続くものと思われれます。こうした事業環境下において、当社グループは、「マックスは、お客様が支持する存在であり続ける」という経営方針を掲げ、事業活動を通してこれを具現化することで「持続的な企業価値の向上」を図ってまいります。

当面の課題は、海外事業の拡大と国内ビジネスモデルの変革と認識し、以下に掲げる具体的施策に取り組めます。

1. 海外事業の拡大

鉄筋結束機、農業・園芸向け製品、高圧釘打機、表示作成機「ビーポップ」など当社の技術力を生かした製品を中心に、国内事業との相乗効果を発揮し、リソースを有効に活用して、海外事業を拡大してまいります。

2. 国内事業のビジネスモデルの変革

国内は、人口の減少、新設住宅着工戸数の減少、ペーパーレス化の進展など市場の縮小が想定されます。国内事業は、市場の変化に対応させ、ビジネスモデルを変革してまいります。

住環境機器事業では、浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」を軸に、リフォーム・リプレイス・点検のBtoCストックビジネスを拡大します。

機工品事業では、新設住宅着工戸数の減少トレンドを想定し、既存建築大工市場に加え、型枠大工など、周辺市場を開拓することで純増売上を獲得します。

オフィス事業では、文具関連のフロービジネスの市場縮小を見込み、消耗品が付帯する「ビーポップ」、「食品表示用ラベルプリンタ」などを中心としたストックビジネスにシフトします。

3. 働き方と組織風土の改革

「健康で働きやすい企業」の実現を推進します。社員が能力を発揮するには、心身ともに健康であることが重要と捉え、「労働時間管理」と「個人の健康管理」を全組織で実施すると共に、多様な働き方に対応した人事制度の見直しやフレックスタイム、テレワークの活用など職場環境づくりを行います。

働きやすさの実現の推進により、生産性を向上させ、新たなことにチャレンジする気概を醸成したいと考えています。そして、失敗を恐れずチャレンジし、失敗から学ぶ組織風土を形成し、個人と組織を成長させ、当社を持続的に成長させてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. 会社の株式に関する事項

株式の状況

(1) 発行可能株式総数	145,983,000株
(2) 発行済株式の総数	49,141,426株
(3) 株主数	3,906名
(4) 単元株式数	100株

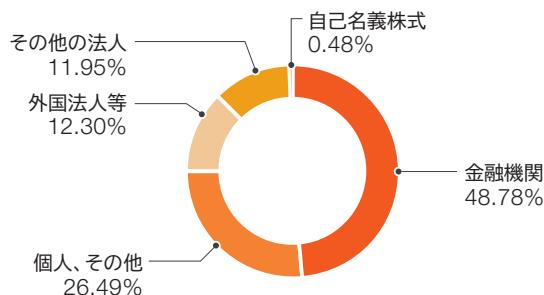
(5) 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	4,284	8.76
日本生命保険相互会社	3,762	7.69
マックス共栄会第一持株会	3,699	7.56
マックス共栄会第二持株会	3,089	6.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,870	5.87
株式会社みずほ銀行	2,344	4.79
株式会社群馬銀行	2,114	4.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,085	4.26
明治安田生命保険相互会社	1,588	3.25
マックス従業員持株会	1,110	2.27

(注) 持株比率については自己株式234,263株を控除して算出しております。

株式分布状況

(所有者別株式数比率) (2020年3月31日時点)





MAX REPORT

2019年4月1日 » 2020年3月31日

事業活動を通じた社会課題の解決

今回は当社の製品を活用した社会課題解決の事例についてご紹介します。

安全な職場づくり 表示作成機「Bepop」

工場の安全表示から、銘板・製品ラベル、工事看板など表示物やラベルを職場で簡単に作成できるプリンタです。また、写真、多言語で多様な表示物を作成できます。



安全表示・人づくりコンテストの開催

2018年よりBepopで作成した安全表示のコンテストを開催しています。安全表示を職場の皆で考え、工夫して作成する「職場自主活動」を通じ、製造現場で働く皆様の安全意識の向上（人づくり）につなげていただくことを目的にしております。

参加企業様からは「皆で議論して表示を考えることで今まで気付けなかったことに気づくことができ、より安全意識が高まった。」といった評価をいただいております。

さらに、コンテストで優秀賞を受賞した企業様による安全活動の発表会の開催により、各社の安全衛生担当者が交流する機会をつくり、安全活動の輪を広げる取組みも行っています。



安全活動の発表会の様子

緑十字展
安全表示・人づくり
コンテスト作品展示



労働環境の改善・技術革新

鉄筋結束機「TWINTIER」



結束作業の生産性を向上



当社は、1993年に世界初の充電式鉄筋結束機を発売し、鉄筋結束作業の生産性向上を図ってきました。

2017年に発売した「TWINTIER」は、1結束あたり0.7秒と従来の鉄筋結束機より、更に時間短縮につながります。その他、結束力を1.5倍に向上、結束後のワイヤの結び目の高さを半減するなど、使用可能な箇所が拡大しました。

働く人々の作業改善は海外でも評価

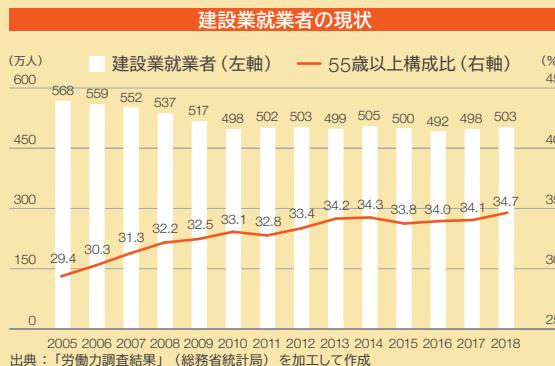


鉄筋結束機は、鉄筋工の悩みである腱鞘炎や腰痛などの発症を緩和するツールとしても評価されています。日本では国土交通省のNETIS（新技術情報システム）に登録されており、海外ではドイツやイギリスで「Health care & Safety」に有効な製品として補助金の対象になっています。

建設業就業者を取り巻く社会的な背景

鉄筋コンクリートの建造物では、鉄筋の結束作業が必要となります。従来、現場では手作業で行われ、熟練の作業者に多くの負担を強いるものでした。

日本の建設業就業者数は緩やかな減少傾向にあるうえ、55歳以上の占める割合も増加しており、今後も高齢化と人手不足の進行が想定されます。鉄筋結束機による作業は作業負荷軽減だけでなく、熟練の技能が不要なため、新規作業者の確保にもつながります。



PRODUCTS NEWS

園芸用誘引結束機 「強保持力テープナー」

梨の棚付け誘引などで作業スピードが手結び比約3倍にアップ。
新テープ・ステーブルで、反発力の強い枝もしっかり留める
園芸用誘引結束機「強保持力テープナー HT-S45E」を発売しました。



商品の特長

これまで、梨やブドウの結果母枝誘引作業では、手結びが主流とされてきました。
「HT-S45E」は、新開発の専用テープと専用ステーブルにより、従来機に比べ約2.5倍の保持力を
実現しました。さらに、結果母枝誘引作業では手結び比約3倍の作業スピードアップとなり、農作業現場
で働く方の疲労軽減や大幅な省力化に貢献する商品です。

シリコンカバーホッチキス 「みずべのいきもの」

かわいい見た目と柔らかく優しい触り心地の
シリコンカバーホッチキス第1弾「みずべのいきもの」シリーズを
数量限定で発売しました。
文具女子の間で話題になり、多数のメディアで取り上げられました。



商品の特長

シリコンカバーホッチキス第1弾の「みずべのいきもの」シリーズは、ホッチキス本体の開いた部分
を口に見立てた「サメ」「ワニ」、書類をとじる際に針を押し出す部分を前歯に見立てた「ビーバー」
の3種類です。また、見た目がかわいいだけでなく、サラサラとした表面で柔らかいシリコン素材に
よって触り心地も追及したホッチキスです。

MAX NETWORK -世界で広がる信頼のブランド-



マックスのグループ会社は、国内・海外合わせて18社。
時代のニーズを捉えたマックスのビジネスを支えます。

① マックス販売株式会社

- 所在地：埼玉県さいたま市 他全国5拠点
- 事業内容：オフィス機器、建設用工具の販売



② マックス常磐株式会社

- 所在地：茨城県北茨城市
- 事業内容：各種コイルネイル、ねじの生産



③ マックス高崎株式会社

- 所在地：群馬県高崎市
- 事業内容：浴室暖房換気乾燥機などの生産



④ マックス物流倉庫株式会社

- 所在地：群馬県佐波郡玉村町
- 事業内容：当社商品の保管・輸送などの物流業務



⑤ マックスエンジニアリングサービス株式会社

- 所在地：群馬県高崎市
- 事業内容：当社商品のアフターサービス業務



⑥ 株式会社カワムラサイクル

- 所在地：兵庫県神戸市
- 事業内容：車いす、その他福祉用品の生産・販売



⑦ 美克司電子機械(蘇州)有限公司

- 所在地：中国江蘇省
- 事業内容：浴室暖房換気乾燥機を生産



⑧ 美克司電子機械(深圳)有限公司

- 所在地：中国広東省
- 事業内容：オートステープラ、電子事務機を生産



⑨ MAX (THAILAND) CO., LTD.

- 所在地：タイ
- 事業内容：オフィス機器、建設用工具の生産



⑩ MAX FASTENERS (M) SDN. BHD.

- 所在地：マレーシア
- 事業内容：ホッチキス、ホッチキス針の生産



⑪ MAX USA CORP.

- 所在地：アメリカ ニューヨーク州
- 事業内容：オフィス機器、建設用工具の販売



⑫ MAX EUROPE B.V.

- 所在地：オランダ
- 事業内容：オフィス機器、建設用工具の販売



マックス「心のホッチキス・ストーリー」

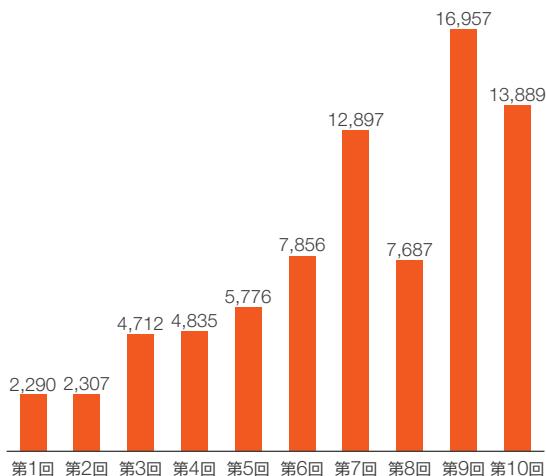
■ マックス「心のホッチキス・ストーリー」とは

“あなたが今、ホッチキスしたいこと”をテーマに、日々の生活の中にある「今の幸せ」「家族の絆」「友だちとの思い出」など、いつまでも心にとどめておきたい思いや出来事などを募集する企画です。2010年に企画を開始して以来、累計応募数は79,206作品、4歳から93歳までの幅広い年代の方々から応募をいただきました。

また、学校単位での応募もあり、授業課題の一つとしてご活用いただいております。

担当教諭からも「生徒の心を見るきっかけになった」「テーマが大きいので、生徒が自由に取り組みやすい」など、企画に対して賛同の声をいただいております。

「心のホッチキス・ストーリー」応募数



■ 第10回記念冊子を制作

第10回を迎えた当期は、今までの受賞作品を全て掲載した記念冊子を制作し、全国の小中学校及び高等学校1,016校へ寄贈しました。

表紙・挿絵をイラストレーターの北村人さんに描いていただき、「心のホッチキス・ストーリー」の世界観を表現した、全体にあたたかい雰囲気をもたせた冊子を制作することができました。



© Jin KITAMURA



© Jin KITAMURA

受賞作品は当社WEBサイトをご覧ください。

https://wis.max-ltd.co.jp/event_op/index.html



利益配分に関する基本方針と配当について

利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけ、事業の成長を図り、事業利益を追求することにより、業績に裏づけされた成果の配分を安定的に行うことを基本方針としております。

当社の配当方針は、連結決算を基準に「配当性向40%を下限とし、純資産配当率3.0%を目指す」と定めています。

当期の配当につきましては、前期から2円増配の「1株当たり年間配当金46円」とする予定です。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031
インターネット ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
単元株式数	100株 当社ホームページに掲載いたします。
公告の方法	https://www.max-ltd.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社ホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京